

第2回 代表者研修会報告

日時：令和4年10月13日（木）14：00～

会場：「B-nest」静岡市産学交流センター

司会：中村副会長

1 あいさつ

(1) 静岡県養護教諭研究会

鈴木 理香 会長

皆さまこんにちは。本日はお忙しい中第2回代表者研修会に御参加いただきありがとうございます。ございます。

先月の台風15号は、県下に大きな被害をもたらしましたが、皆さんの地区の状況はいかがでしょう。まず、被害に遭われた皆さんにお見舞い申し上げ、心より復興をお祈り申し上げます。大きな被害があった地域や、そこに住む子供たちには今後も継続的な支援が必要になると思われ、その対応を養護教諭も求められていくのではないかと思います。研究会でも、理事の皆さんに御協力いただき、被害状況の調査をしましたが、保健室が大きな被害に遭われた学校もあることが分かりました。研究会としましては、保健室が被害に遭われた養護教諭の皆さんに対する支援を、検討しています。

また、夏季研修会は、理事の皆さんにたくさんの御協力をいただき、ありがとうございました。急遽ハイブリッド開催となりましたが、1年延期となった養護教諭制度80周年記念式典を、静岡県高等学校養護教育研究会と合同で行うことができました。式典では、長く県内養護教諭のために御尽力いただいている林典子先生の基調講演をはじめ、静岡大学教育学部の鎌塚優子教授をコーディネーターに行われたシンポジウムでは異なる立ち位置から、3人の先生方にエールをいただきました。アトラクション、記念品など記念式典にふさわしい皆さんの心に残る充実した研修となりました。

地区理事の皆様には、会員の皆様への連絡、資料の受け渡し、当日の受付等、たくさんのお力添えをいただきました。夏休み中、また閉庁期間と重なった地区もあり、大変御苦労をおかけしたと聞いております。理事のみなさんの御理解と御協力がなくては実施できなかった研修会でした。本当にありがとうございました。夏季研修会についての会員の皆様からの意見は、後ほど紹介させていただきます。

さて、今年度の研究会の活動でも、各委員会などもオンライン開催を行うことが多くなってきました。GIGAスクール構想のもと、学校のネット環境が整備され、その利用も一層進んできております。そんな中、今期のテーマである「子供たちの幸せのために学び続ける養護教諭」のもと、養護教諭が行うICTの実践例を集めた、実践事例集18の作成を計画しており、後ほど、編集委員長より皆様に各地区での事例提供についてのお願ひもあります。そのことについてもご協力をお願い致します。

最後になりましたが、本日は、静岡県教育委員会健康体育課健康食育班教育主幹 富田宏美先生をはじめ、静岡県学校保健会事務局長 細田英生様、御前崎市立浜岡中学校

の長谷川延明顧問校長にも参加いただいております。御指導・御助言をよろしく願いいたします。

(2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長

長谷川 延明 校長

皆さんこんにちは。第2回代表者研修会にお集まりいただきありがとうございます。先日の台風で被害を受けた学校のホームページを見ると、再開に向けて制服ではなく私服で登校してもよいと判断するなど大変な状況があったことがよく分かります。これからは今までにない対応をする可能性があるということを改めて感じ、危機管理意識を高めていかなければと思っています。

さて8月19日の夏季研修会ですが、本当に素晴らしい会でした。

今年度から養護教諭研究会の担当になり、養護教諭の視点というものを自分の中にも持つようになりました。例えば市の予算の要求の中で、コロナ感染予防、衛生面、消毒作業の負担から、トイレの蛇口は感知式に変えてくれないかという話をしました。人事については、本年度、養護教諭の倍率は小学校中学校の教科等と比較しても1番高く14.8倍です。133人受けて2次試験の合格者数が9名です。こんなにたくさんの方が受けていてかなり優秀な方が集まっているので、欠員の学校をなくして欲しい、複数配置の基準の見直しを図って欲しいと、一人職をもっとバックアップしてくれる視点を県としても示してもらえるようお願いをしてきました。そういうことを強く言えるようになったのも、やはりこの会に参加させていただいているおかげだと思っています。夏季研修会のことについても県の理事会で報告をさせていただき、各地区の校長にも管理職として一人職を是非守ってほしいと話をしています。

(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

皆様こんにちは。静岡県教育委員会健康体育課の富田と申します。よろしくお願いいたします。台風15号で被害に遭われた方がいらっしゃいましたらお見舞い申し上げます。健康体育課内にも危機管理班がありますので、県立学校の被害については情報が来ております。しかし、市町に関しては来ていないものもあるため、研究会と情報共有をしながら把握していきたいと思っております。

また8月19日に行われました養護教諭の講習会につきましては、本当に皆様の御協力がなくては成功することができなかったと思っております。夏休み中ではありましたが御協力いただきありがとうございました。また本日はここにいらっしゃらない方の中にも開催に御協力いただいた方もおりますので、各地区でよろしくお伝えください。

今後とも子供たちのために学校保健に御尽力いただければと思います。

(4) 静岡県学校保健会

細田 英生 事務局長

静岡県学校保健会の細田です。日頃より、本会の事業に御理解御協力をいただきありがとうございます。特に鈴木会長には、本会の理事として各種会合に御出席いただき御指導をいただいておりますことお礼申し上げます。

本日は、本会の事業進捗状況について報告させていただきます。

最初に、年度始めのお忙しい時期に学校歯科保健と学校環境衛生活動に関する調査に御協力いただきありがとうございました。調査は滞りなく行われデータを収集することができました。学校環境衛生活動に関する調査は、本年度から指定フォームへのデータ入力方式としました。入力に関し少しトラブルもあったようですが、全体的には順調であったようです。来年度以降も改善を進めながら活用していきたいと考えています。

関東甲信越静学校保健大会は、8月4日に横浜市を主会場に Web 配信で開催されました。静岡県からは38名の方に御参加いただきました。また「学校経営と学校保健」の分科会で県立韮山高等学校の養護教諭工藤先生に実践を発表していただきました。御協力ありがとうございました。

表彰事業では、学校保健功労者等審査委員会が9月29日に開催され、4部門の受賞者が決定しました。

- ・学校保健功労者は76名の受賞者が決定しました。昨年度は110名でしたので30名以上少なくなっています。
- ・健康推進学校は、小学校4校、中学校2校の受賞が決定し、浜松市立豊西小学校が優秀賞に選考されました。
- ・学校歯科保健優良学校は、小学校9校、中学校6校、高等学校3校、特別支援学校1校の受賞が決定し、伊豆市立中伊豆小学校、沼津市立門池中学校、県立小山高等学校、県立沼津聴覚特別支援学校が優秀校に選考されました。
- ・学校環境衛生活動優良学校は、小学校9校、中学校6校、高等学校3校、特別支援学校1校の受賞が決定しました。

表彰式は、11月17日に富士市で開催される第61回静岡県学校保健研究大会で代表者の出席で行われます。

続いて今後の事業ですが、第61回静岡県学校保健研究大会は、11月17日に富士市のロゼシアターで開催されます。現時点では感染防止対策を取り対面方式で開催できるよう、富士市の皆様が準備を進めくださっています。なお表彰式は代表者の出席で行う予定です。

第44回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会は、12月26日にオンラインにて開催します。当日の参加校は、沼津市立大岡中学校、県立韮山高等学校、県立富士高等学校、県立小笠高等学校です。そして紙上発表で県立科学技術高等学校が参加します。後日一般聴講についても募集しますので多くの方に参加していただきたいと思えます。

第51回学校保健新聞コンクールは、現在応募作品を募集中です。期限が11月18日となっていますので、皆様も是非御応募ください。

全国学校保健・安全研究大会は、11月10日、11日に盛岡市を主会場に直接参加とWeb参加のハイブリッド方式で開催されます。

日本学校保健会から調査協力依頼が来ています。

- ・「アレルギー疾患に関する調査」これはインターネット調査で、県内の公立小・中・高・特別支援学校と教育委員会が対象になります。

・「保健室利用状況調査」これは県内の 97 調査対象校に対して行われるものです。調査用紙等は、直接対象校に送付されます。御協力をお願いいたします。

事業進捗状況については以上です。

これから秋が深まり冬を迎えます。新型コロナウイルス感染症の感染状況がどのようになるのか、そしてインフルエンザとの同時流行はあるのか、心配の種は尽きません。コロナ発症以来、最前線で奮闘されてきた養護教諭の皆様、今後も皆様のお力で静岡の子供たち、そして学校を守っていただきたいと思います。もちろん御自身の健康にも十分御配慮ください。

2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

8月19日に伝えた所管事項から新たに追加した内容を中心に伝える。

(1) 保健管理より

・ P 2 ウ 学校全部または一部の臨時休業

学校内で感染が広がっている可能性がある場合、臨時休業をすることが考えられるが、そうでない場合は、可能な限り学校教育活動を継続し、学びの保障に努める。

臨時休業の期間は5日程度(土日祝日を含む)を基準に検討する。状況によりこれより短くなることもある。

臨時休業を行った場合は、「インフルエンザ施設別発生報告(R4, 9, 13付教健第533号)に基づき市町教育委員会に報告する。

・ P 2～P 4 新型コロナウイルスに関する文部科学省の通知(新たなもの)

文部科学省のHPで確認する。

7月以降オミクロン株に関する通知が多く出ている。今後、また新たな変異株が出てきた場合には通知が続けて出されることがあるため注意してほしい。

・ P 4 ②インフルエンザ等

臨時休業をした際には、市町教育委員会に報告する。(R4, 9, 13付教健第533号)

今後、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に発生し学校閉鎖等を行った場合の報告については、関係各課と調整中。決定したら通知を出す。

・ P 5 ②アレルギー疾患への対応

日本学校保健会「アレルギー疾患に関する調査」(R4, 10, 11付教健635号)

10月20日～11月30日(インターネット調査)内容を確認し協力していく。

(2) 保健教育より

・ P 6 (2)がん教育 ※8月19日の所管事項でも伝えたとおり

第3次静岡県がん対策推進計画(平成30年3月)では、県内全ての小中学校、高等学校で適切ながん教育を実施することを目標としている。

令和5年度の学校保健計画を立てる際に必ず位置付けをする。

・ P 7 (4)生命(いのち)の安全教育

文部科学省HP参照 学校の状況を踏まえ学校保健計画に位置付ける。

(3) その他より

・ P 7 養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議 議論の整理

教職生涯を通じた資質能力の向上を見据えた際の4つの課題や、解決に向けての方向性を取りまとめたもの。一読する。

・ P 7 令和3年度児童生徒の近視実態調査結果報告書

社会のデジタル化に伴い児童生徒がICT機器に触れる機会が増加し、その使用による視力の影響について調査がされた。多くのデータが掲載されているため、今後の指導に役立つ。HPで確認することができる。

・ P 8 (10) 全国学校環境衛生調査・薬事衛生研究協議会（和歌山県）

会場参加者限定ワークショップの開催が追加された。会場参加者は必ず回答する。

・ P 9～ 参考資料、通知等

3 議事

(資料 配付済み)

(1) 令和4年度静岡県養護教諭夏季研修会の反省

出口幹事

- ・研修会の参加方法 Web参加70%、会場参加30%であった。
- ・基調講演、シンポジウム、記念式典について全て好評価であった。
- ・「大変心に残った」「養護教諭の職を見つめ直しこの仕事への誇りを再認識する1日となった」というような感想が多かった。
- ・今後に向けては、「今後もシンポジウム形式を取り入れてほしい」「林先生やシンポジストのお話をまた聞く機会を設けてほしい」「とても素敵な会だったが、働き方改革の面から考えて90周年、100周年に向けてはどうするのか、今から検討したい」「今後も継続してオンラインを取り入れていくか検討したい」などの意見が出された。

【会長からの補足】

今回のアンケート調査はGoogleフォームで行ったが、会員数に比べ、回答数が少なかった。アンケートが県教委と研究会からとそれぞれあり、記載している場所・入り方等も違ったため分かりにくかったのではないかと。また研究会としての宣伝も足りなかったと反省している。反省点は来年度以降に生かしていきたい。

(2) 令和4年度静岡県養護教諭冬季研修会

鈴木理会長

- ・オンデマンド形式で開催する。
- ・この冬は、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の同時流行も懸念されている。学びを深めたい方が安心して学べる機会となるように、当初の計画から変更した。
- ・講師…静岡大学教育学部 小林朋子教授

(3) 各委員会の報告

① 会報「たちばな 65 号」編集報告

中村委員長

- ・12月初旬の発刊に向けて進めている。
- ・県内全ての会員へ無償配付をする。
- ・配付以外で購入する場合の代金について、これまで1,000円だったものが本年度は600円で販売できることになった。(印刷業者変更のため)
- ・申込みの文書は各地区理事から会員に配付し、11月1日までに委員長に届くように回収する。
- ・12月初旬には完成した冊子を各地区へ届ける予定。各地区理事から会員、教育委員会等関係機関への冊子の発送、原稿執筆者へのお礼状の発送を行う。

② 「実践事例集 18」中間報告

山村委員長

- ・事例集が皆さんの手元に届いたとき、ICT活用の経験があまりない方も「自分にもできそうだからやってみよう」と思っていただけのような事例集を目指している。
- ・事例提供のお願い…出欠席管理、健康相談、傷病に関する情報共有、保健教育、児童・生徒保健委員会、学校保健委員会、地区研修、その他保健室経営に関すること等のICT活用実践を募りたい。些細な実践でもよいので積極的に事例提供をしてほしい。まずは提供できる会員がどのくらいいるのか調査を行う。地区から事例提供者リストの提出をお願いしたい。

【質問・意見】

- ・会員への事例提供の依頼について、もう少しわかりやすく示してほしい。

【回答】

- ・作成し直し、改めて事務局から各地区理事へ送付する。

③ 調査研究「実態調査」結果報告

中島委員長

- ・校正作業を重ね、9月中旬に印刷データを業者に入稿し、令和3年度版の冊子が仕上がった。今年度はWeb会議を活用したり、印刷製本を業者委託にしたりしたことで、感染状況に左右されることなく作成することができた。
- ・今後は、令和5年3月に、次の調査ができるように準備を進めていく。

【内容報告】 ※冊子参照

- ・昨年度の実態調査を踏襲する形とした。
- ・P.2 昨年度から新たに入れたグラフ
県内においても少子化は進んでおり、この7年間で学校数が19校、小中学生が21,492人減少している。それを踏まえてこの調査結果は見ていく必要がある。
- ・会員の皆さまからいただいた貴重なデータなので、実態調査の結果と各地区の現状を比較しそれぞれの地区の実態把握や環境改善に活かしていただきたい。

はじめに

With コロナで迎えた令和3年度。このコロナ禍で社会も学校も今までとは異なる変化を続けている。さまざまな変化が、今後どのような方向に向かい、どのような結

果が見えてくるのか、これまでの調査結果と今後の結果を短期・中期・長期的に、継続して注意深く見比べて行く必要がある。その観点からも、この調査を継続していくことには意義があり、これを手に取る皆様には、十分な時間を使ってご覧になっていただきたい。

養護教諭基本調査

- ・年齢は30代～40代、経験年数は15年から29年の層が低く、10年後を考えた組織作りや研修の充実を各地区でも行い、資質の維持や向上に取り組んでいく必要を感じる。
- ・ICT化や新型コロナウイルス感染症に伴う新しい健康課題も生まれていることから、現状に合わせて、世代を超えて高め合っていけるような体制づくりも必要である。
- ・研究会では、会員がより資質を高められる研修に参加できるような費用の予算化や、Webでの研修など、最新の研修についての情報発信を今後も行っていきたい。

保健室・別室登校及びいじめ・虐待などの保健室利用に関する調査

- ・保健室・別室登校児童生徒数では、中学校における別室登校生徒の人数が大変多いことが分かる。保健室登校の児童生徒数は小・中学校共に令和2年度は減少したが、今年度は増加している。別室登校を含め、今後の推移を注意深くみていく必要があると感じる。
- ・養護教諭が保健室登校以外の心の健康に問題を持つ児童生徒へ支援した実態では支援した内容も多岐に渡り心の問題も多様化している。中学校では支援数も多くより難しい対応が多いことが読み取れる。
- ・養護教諭が対応に関与したいじめの実態では、いじめについては令和元年度より減少傾向にある。しかし今後の推移をみていく必要を感じる。教職員からの相談については、子供のことでなく教職員自身の相談も多く受けているということが分かる。

危機管理に関する調査

- ・新型コロナウイルス感染症対策で特に苦慮したことに関する調査は、昨年度から始めた。苦慮したことは小中学校共に「登校後の体調不良者への対応・隔離」が多く、続いて、「環境整備」「感染症対策の計画と体制づくりへの参画」の順になっている。日々更新される情報と、安心安全を求められる学校生活の中で、対応に苦慮している様子が伺える。また、with コロナの現在だが、この項目は今後も比較が必要だと思われる。

全体を通して

- ・児童生徒数は年々減少しているが、集団では適応しにくい子供たちの数が増え、養護教諭に、よりきめ細かで安定した対応が求められている。また新型コロナウイルス感染症や他の感染症対策、新たに生まれる健康課題等への対応を考えると、複数配置などの人的な支援の充実について、関係機関への働きかけを継続していく必要があると感じる。

個人基本調査

- ・資質の向上の研修希望では、「救急処置救急体制」「感染症予防」「メンタルヘルス」「ライフスキル」の希望が多くある。
- ・研究会としては、児童生徒の健康課題解決と養護教諭自身の資質の向上のため、必要度の高い研修を企画していきたい。

【質問・意見】

- ・保健主事の任用に関する項目があるが、養護教諭の任用を増やしていくためのものか。そうであれば校長会への働きかけなどが有効ではないか。

【回答】

- ・地区により養護教諭の年齢構成や置かれている立場も異なるため、研究会として保健主事任用率を高めていこうとは考えていない。各地区の様子を比較するための資料として活用してほしい。

④ ホームページアップ状況

(鈴木理会長代理提案)

- ・現在、夏季研修会・養護教諭制度 80 周年記念式典の報告、「保健室訪問」のページを作成するため、作業を行っている。
- ・今後は冬季研修会の内容をホームページにアップするための活動、また活動を進める中で見えてきた課題を挙げ、来年度に生かせるよう検討をしていく予定である。
- ・本年度は、令和 4 年度の会員の実態、代表者研修会の報告、事業計画、きんもくせいをアップしている。これらについては、過去 3 年間のものも継続して掲載していく。また研修会案内や連絡事項についてはその都度掲載し、時期が過ぎたものから削除をしている。
- ・ホームページの利用についても「きんもくせい」に QR コードをつけアクセスしやすくする、会員限定ページを分かりやすくするなど、ホームページがより身近になる方法を検討していきたい。

(4) 令和 4 年度静岡県養護教諭研究会活動反省について

鈴木久事務局

- ・例年同様活動反省調査を行う。
- ・12 月初旬に各地区理事をとおして会員へ配付する。(事務局から理事への送付は 11 月下旬)
- ・各地区理事は会員からアンケートを回収し、集計した後、1 月 13 日までに事務局へ提出する。

【質問・意見】

- ・活動反省を効率よく行えるようにしてほしい。

【回答】

- ・フォームを使うなど効率よく行える方法を検討していきたい。

- (5) 台風 15 号による保健室の被害状況と支援について 鈴木理会長
- ・調査の結果、保健室が浸水被害を受けた学校は、県内で 4 校あった。(磐田市 1、浜松市 1、静岡市 2) 被害状況は、室内が泥だらけになった、汚水が入った、器具の破損、書類や資料が濡れてしまったなど。
 - ・被害に遭った学校の養護教諭に対して研究会として支援をしていきたい。初めてのことになるが、本年度の研究会の予算からお見舞い金を出していく。
 - ・具体的な内容については、会長と顧問で相談し対応する。どのような支援を行ったかは事後報告をする。

4 連絡事項

- (1) 静岡県アレルギー疾患医療連絡協議会委員について 鈴木理会長
- 静岡県健康福祉疾病対策室から養護教諭研究会に委員の依頼があった。現在関係機関と調整中である。

- (2) 会報「きんもくせい」について (道上書記)
- 133 号は、冬季研修会が集合形式からオンデマンドに変更になったことを入れる。事務局より理事にメールで送信するので各校へ配布して欲しい。134 号は 2 月に発行予定。地区紹介は東豆・磐周地区、原稿作成のご協力をお願いしたい。

- (3) 会員名簿について (道上書記)
- 8 月 1 日までに小学校で新たに複数配置が 3 校増えた。会員数が 778 人から 781 人になった。会員の増減があったら担当書記の土屋まで連絡。

- (4) 会計について 伊藤会計
- 会誌たちばな
- 11 月 1 日までに… 請求書領収書形式報告書 (会計 3) 会計に FAX 送信
(団体独自の形式や宛名が必要な場合は、その他に記入)
- 1 月 13 日までに… 配布以外の購入希望について代金納入、手数料は地区負担
代金納入報告書 (会計 4) を FAX で会計に送信

- (5) 事務局より 理事依頼事項について 鈴木久事務局
- 理事依頼事項一覧を添付したので確認をお願いしたい。

- (6) 各地区から
- ・賀茂・東豆地区…来年度からの教職員健康診断票はどうするのか
→市町の教育委員会ごとに検討している。
→大きさ・厚さで封筒に入らない、郵送料がかかる等がある。
 - ・田方地区…生理の貧困問題への取り組みをどのようにしているか

- 設置済み（設置・アナウンス・補充などは市町により違う）
- 試行中（今年度試行し、実態・ニーズ・意識調査を実施予定）
- 県立学校（設置済み・各学校の予算の中で補充）

（7）その他

- ・公立学校共済組合静岡支部保健事業検討委員会の報告 臼井顧問
5年に一度の検討委員会に参加した。教職員の健康診断については、様々な立場の職員が増えており受ける健康診断が一律でないため、大変煩雑な事務処理になっていることを伝えた。できれば一覧表にしていただけるとありがたいという意見を出してきた。
定年が延長される場合には、人間ドック・脳ドックの予算化がされる見込み。また連絡がある。
- ・「瑞星」第13号の申し込みについて 鈴木久事務局
11月7日・・・地区で希望をとりまとめ申し込み冊数を報告（瑞星-3）
- ・研修会報告（関ブロ学校保健研究大会、全養連研修会）紙面報告